

# ソチ国際投資フォーラム 松山副大臣スピーチ

平成25年9月28日

日本政府を代表して、第12回国際投資フォーラム「ソチ2013」の開催をお祝いいたします。また、ロシアにおける最も伝統のあるフォーラムの一つであるこの会議に御招待いただいたことに対し、心から感謝いたします。

## 【日露関係一般】

安倍総理は日露関係を「最も可能性に富んだ二国間関係の1つ」として重視しています。今年4月に日本の総理として十年ぶりにロシアを公式訪問しました。その後も、6月のG8首脳会合、今月のG20サントペテルブルク・サミットの機会に日露首脳会談が行われました。こうした首脳レベルでの緊密なコンタクトに加えて、閣僚を始め様々なレベルで会談が頻繁に行われています。私も、今年に入ってから三度目の訪露として、今次フォーラムに出席した次第です。

## 【日露経済関係】

日本とロシアの経済関係は着実に発展しています。2012年の日露の貿易額は過去最高の335億ドルと、3年前のおよそ3倍となりました。今年も昨年を上回る勢いで伸びています。また、日本からロシアに対する直接投資残高も昨年末現在で2360億ドルと、5年前の5倍となりました。

日本の経済界もロシアとの関係をこれまで以上に重視しています。4月の総理の訪露の際には、30名の主要企業トップを含む120名から成る日本企業関係者のミッションが同行しました。エネルギー等の伝統的な協力分野のみならず、農業・食料、医療、都市環境といった国民に身近な分野で、日露の協力に一層の弾みがつく機会となりました。

## 【ロシア極東地域における日露経済協力の進展】

現在、ロシア極東地域においては、日露間で多くのプロジェクトが進行しています。

エネルギー分野では、サハリンにおける石油・ガス開発プロジェクト、ウラジオストクLNGプラントや東シベリア共同探鉱などの協力が進んでいます。5月には日本のINPEXとロスネフチの間で、マガダン州における油田共同探鉱に関する合意が結ばれました。

製造業の分野においても、自動車製造について、極東におけるトヨタ、マツダの進出等、目に見える協力が積み上がってきており、ロシア国民の雇用創出に貢献しています。

これらに加え、最近では、農林業、医療、省エネ、学術交流などの新しい分野においても、様々な日露協力が進展しています。

農林業分野では、北海道銀行が北海道の農業者と共に、ハバロフスク地方及びアムール州で、寒冷地農業技術を活用した協力を開始しました。三井物産がブリヤート共和国にて木材加工会社へ資本参加しました。

医療分野では、我が国の先端医療を活用した協力が進展しています。日本の病院「北斗病院」は今年6月から極東のウラジオストクにおいて「HOKUTO画像診断センター」を設立しました。私も視察しましたが、最先端の機器・技術による検査を開始し、多数の患者が行列をなしていると聞いています。

省エネ・エネルギー効率改善の分野では、川崎重工がRAOESヴォストーク社との間で、エネルギー効率80%を誇るコジェネガスタービンを実験的に設置することで合意しました。

## 【アジア太平洋地域におけるロシア極東地域の重要性】

世界経済の成長センターであるアジア太平洋地域に存在するロシアの極東地域は、我が国との関係も深く、大きな潜在性を有しています。次にアジア太平洋地域におけるロシア極東地域の重要性について述べたいと思います。

アジア太平洋の経済発展が進むにつれ、経済活動を支えるエネルギー資源、運輸インフラ、食糧供給、発展を支える人材育成などへの需要が一層高まることは明らかなです。そのような中で極東・シベリア地域の果たす役割も大きくなると考えます。

極東・シベリア地域のエネルギー資源が一層有効に利用されれば、中長期的に見て、成長するアジア太平洋地域のエネルギー調達コストが低められ、アジア太平洋地域の成長を支えていく潜在性があり、サハリンの開発、ウラジオ LNG や極東 LNG プロジェクトなどの実現が期待されます。

また、シベリア鉄道や港湾の近代化を進め、輸送コストを大幅に下げることができれば、スエズ運河経由の航路に代わって、アジア太平洋地域と欧州を結ぶ運輸・物流の大動脈が極東・シベリア地域に出現することでしょう。

農業分野においても、最近の農業技術の進歩により、寒冷地である極東・シベリア地域でのそばや大豆、畜産といった食糧生産への関心が高まっています。

さらに、人材育成分野においては、ロシア政府は極東連邦大学を設置するなど、ウラジオストクを、極東地域、更にはアジア太平洋地域の将来を担う人材育成センターの一つにしようとのアイディアにも注目が集まっています。我が国は、ロシア 6 都市で設立されている日本センターを通じて、ロシア人経営者の育成や日露両国企業のビジネ

ス・マッチングに努力しています。

このように、ロシア極東地域は、アジア太平洋地域の成長にとっても重要な役割を果たし得る地域です。そして、高い技術を有する日本はロシア極東地域を始めロシアの発展に大きく貢献し得る隣国です。我が国としては、今後とも、幅広い分野で日露協力を強化し、ロシアの潜在力の蓋をウィン・ウィンの形で大きく開けていきたいと考えています。

### 【結語】

日露経済関係は、着実に強化されてきていますが、より大きな潜在力があると確信しています。その潜在力を更に活かし、日露協力を幅広く拡大するためには、ロシアの貿易・投資環境を一層良いものにすることも重要です。プーチン大統領は、ロシアのビジネス環境ランキングを120位から20位に上げるとの目標を掲げたと承知しています。これが実現すれば、日本からのロシアへの投資も更に増加するものと確信します。

ロシアが、貿易・投資環境の整備にも意を用い、外資導入を進めつつ、更なる発展を遂げることを期待しています。日本政府としても、関係省庁から成る日露経済交流促進会議を立ち上げるとともに、地方自治体、大学、民間企業等も含めた日露交流促進官民連絡会議を立ち上げて、ロシアとの間の貿易・投資の促進に努めています。

今後とも、日本政府として、互惠の原則にのっとり日露協力の発展に尽力していく考えであることを申し上げて、結びとたく思います。

ご清聴ありがとうございました。